

「地域の課題Ⅱ」「地域課題演習」について

3日間の授業はいかがでしたか。ご自身と異なる専攻の 학생さんと一緒に学ぶことで色々な発見があったと思います。この複数の大学・短大・高専の皆さんが履修した単位互換科目は、「地域の課題Ⅰ」からさらに一步、学びを深める科目として後期に「地域の課題Ⅱ」、次年度通年の「地域課題演習」という二つの単位互換科目を用意しています。「地域の課題Ⅰ」での学びをいかし、一緒に次の学びに挑戦してみませんか。



昨年度「地域の課題Ⅱ」の企業インタビュー

2018年度後期「地域の課題Ⅱ」 2単位

概要 ※1

テーマ	地域企業の課題発見と解決提案
講義内容	「地域の課題Ⅰ」の内容を踏まえ、地域企業の経営者に対するインタビューと関連項目の調査を通じて、その企業の課題を明らかにする。その上で、自分自身に取り組むという仮定のもとに、課題解決のためのプロジェクトを設計する。その過程で、自己と世界の関係性を認識し、自らの個性や能力を現実社会の事業や仕事の中で存在感のある形で発揮することを体験的に学ぶ。
達成目標	地域企業の経営者に対するインタビューと関連項目の調査を通じて、その企業の課題解決のために自らが組みうるプロジェクトを設計する。その過程で、既存の知識を組み合わせることで事象を解釈し、新たな知を生み出すための仮説設定ができるようになるための能力として、①戦略的計画の策定能力、②価値判断能力、③信頼関係構築能力の三つの強化を図る。

講義スケジュール

	開講日程	枠組	概要
第01回	10月6日(土) ①10:50~12:20 ②13:00~14:30 ③14:40~16:10	ガイダンス	ガイダンス:授業の目的と到達目標、内容、学び方、留意事項、インタビュー企業の概略を紹介
第02回		インタビュー調査の基礎	グループワーク:事前調査を踏まえた模擬インタビュー実施 講義:企業の現状課題のためのヒアリング項目と内容
第03回		ヒアリングシート設計	グループワーク:インタビューする企業の現状を理解するために必要な情報を洗い出す。その上で経営者インタビューの際に用いるヒアリングシートを作成する。
第04回	10月9日(火) 13:00~16:00 ※2	経営者インタビュー(1)	実践:自らが作成したヒアリングシートを用いて、地域企業の経営者に課題抽出のためのインタビューを実施する。
第05回		経営者インタビュー(2)	
第06回	11月17日(土) ①10:50~12:20 ②13:00~14:30 ③14:40~16:10	地域企業の現状	グループワーク:企業ごとに作成した内容を共有 講義:地域企業の将来像と課題
第07回		再インタビュー設計(1)	グループワーク:企業の再ヒアリングの項目やインタビューの流れを設計し、教員からフィードバックを受ける
第08回		再インタビュー設計(2)	
第09回	12月8日(土) ①10:50~12:20 ②13:00~14:30 ③14:40~16:10 ④16:20~17:50	経営者インタビュー(3)	実践:企業の経営者に課題抽出のためのインタビューを実施
第10回		地域企業の課題抽出	グループワーク:当該企業の課題について、妥当性を議論 講義:企業課題解決プロジェクトの設計手順と留意点について解説
第11回		地域企業の課題と解決のためのプロジェクト	グループワーク:当該企業の課題のうち、学生自らが取り組むのが効果的なものとして抽出したものに対して、妥当性を議論
第12回		プロジェクト設計	ワーク:当該企業の課題に対し学生自らが取り組めるプロジェクトを設計し、教員からのフィードバックを元にブラッシュアップ
第13回	12月15日(土) ①10:50~12:20 ②13:00~14:30 ③14:40~16:10	プロジェクトブラッシュアップ(1)	グループワーク:ヒアリング企業の現状、課題、それに対して学生自らが組みうるプロジェクトをとりまとめ、教員からのフィードバックを元にブラッシュアップ
第14回		プロジェクトブラッシュアップ(2)	
第15回		プロジェクト発表	全体共有:設計した課題解決プロジェクトの内容を共有し、相互に評価

成績評価等

成績評価方法	ミニツペーパー等 65%、プロジェクト内容 35%
学修に必要な準備	授業内では経営に関するフレームワークを提示しますが、それぞれの学部学科の学びの視点が活かされることが重要です。そのため、普段の学部の授業での学びを表面的に捉えるのではなく、他の事象に適用するという観点で捉える努力をしてください。
履修上の注意	この授業は一方的な講義で終了するものではありません。他の受講生とのディスカッションや、授業時間外の調査も必要になりますので、その心づもりを持って受講してください。 ※現実の企業課題に取り組みますので、情報管理に関する教員の注意事項を守ってください。

2019 年度通年「地域課題演習」 4 単位

概要 ※1

テーマ	地域企業の課題解決のための仮説検証
講義内容	「地域の課題Ⅰ」「地域の課題Ⅱ」の講義内容を踏まえ、地域企業の課題解決につながるプロジェクトを実践する。仮説検証を繰り返し、環境を変化させることを通して、新たな知を生み出すプロセスを体験的に学ぶ。
達成目標	地域企業の課題解決プロジェクトを実践し必要な成果を生み出す。その過程で、既存の知識を組み合わせることで事象を解釈し、新たな知を生み出すための仮説検証ができるようになる。

講義スケジュール ※3

	枠組	概要
第 01 回	ガイダンス プロジェクト理解	ガイダンス:この授業の目的と到達目標、内容、学び方、留意事項について詳しく説明し、参画企業の概略を紹介する。 評価指標の提示:この授業の評価指標を示し、各項目について具体的に説明する。 プロジェクト理解:地域企業で取り組むプロジェクトの内容を理解し、自分が取り組むプロジェクトを定める。
第 02 回	目標設定	対話型グループワーク:自らが課題解決プロジェクトに取り組む意義や理由を言語化し、共有する。 討論型グループワーク:自らが取り組むプロジェクトの成果目標に対し、達成のための仮説を設定し、行動計画を策定する。策定された行動計画に対し、相互に妥当性を議論する。
第 03～05 回	関係性構築	演習実施企業での日常業務に参画し、当該企業の関係者との間に協力的な関係性を構築する。
第 06～08 回	企業の現状把握	演習実施企業での日常業務に参画し、当該企業の現状と事前情報の間に差異がないかを確認する。
第 09～14 回	仮説検証	演習実施企業での日常業務にも参画しつつ、当該企業の課題解決のための仮説検証に取り組む。
第 15 回	中間モニタリング	対話型グループワーク:これまでの企業現場での実習を通して、自己の内面にどのような変化があったかを振り返る。 討論型グループワーク:これまでの企業現場での実習を振り返り、課題解決のための行動や仮説の修正点を抽出する。その上で、新たな行動計画を策定する。
第 16～29 回	仮説検証	新たな仮説と行動計画に基づいて、演習実施企業での日常業務にも参画しつつ、当該企業の課題解決のための仮説検証に取り組む。
第 30 回	最終ふりかえり	対話型グループワーク:プロジェクトの成果目標に対する達成度や効果について、教員を交えて相互評価する。 対話型グループワーク:演習の全プロセスをふりかえり、その中で体験がどのような学びに繋がったかを言語化し、共有する。

成績評価等

成績評価方法	日報の内容 50% ふりかえりの内容(仮説検証プロセス) 20% プロジェクト成果 30%
学修に必要な準備	この授業では実際の企業現場で課題解決に取り組む中で、仮説検証を繰り返します。与えられた課題をこなすのではなく、自ら仮説を立て行動を通して検証する過程で、自ら知を構築するのだということを理解して臨んでください。
履修上の注意	この授業は地域企業の現場での演習が中心です。教育課程上では通年科目として設定されていますが、現場での活動は夏季休業期間中を想定しています。詳細については、ガイダンス時に教員より説明します。 ※現実の企業課題に取り組みますので、情報管理に関する教員の注意事項を守ってください。

※1 : 詳しいシラバスは WEB サイト【<http://miyagi-coc.jp/2018j>】をご覧ください。

※2 : 「地域企業魅力発信イベント 2018」に参加してインタビューを行います。平日午後の開催となるので、他授業と重複した場合等は代替案を提示します。事前に申し出てください。

※3 : 「地域課題演習」の次年度の講義日程は本年度末に決定します。

【不明点等の問合せ先】 地域協働教育推進機構

E-mail jim@miyagi-coc.jp 電話 022-264-6328 (平日 9時から 17時まで)

WEB サイト <http://miyagi-coc.jp/>